

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

ポイント還元×クーポン券発行事業

～市民生活と事業者を支援します～ ～高齢者の生活を支援します～

目的 期待する効果	『QRコード決済』と『紙のクーポン券』を活用した事業を一体的に実施することにより、市民生活、事業者の支援を行うとともに、新しい生活様式（非接触型決済）への対応を推進するものです。
概要	<p>① PayPay を活用したポイント還元事業を実施し、市民生活の支援、事業者の支援に加え、新しい生活様式（非接触型決済）への対応を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施予定時期：2021年8月（1か月間） ・付与率：最大30%（上限：3,000円相当/回、15,000円相当/期間） ・対象店舗：市内中小事業者（大型店・チェーン店・コンビニなどは対象外） ・付与日：お支払いの翌日から起算して30日後 <p>② 高齢者の中には PayPay を利用できない方が一定数いることが想定されるため、『紙のクーポン券』を市内在住の65歳以上の高齢者へ配布し、高齢者の生活を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施予定時期 2021年8月1日～12月31日 ・クーポン券の額 一人あたり3,000円分（500円×6枚つづり） ・対象者数/発行枚数 約21,500人/21,500セット ・対象店舗：市商工会会員事業者（非会員でも市内に事業所がある場合は可）
事業費	1億7,543万8千円 (ポイント還元：9,539万9千円/高齢者応援クーポン：8,003万9千円)
特記事項	市制施行30周年にちなんで、ポイント還元の付与率を30%としました。

担当部署 連絡先 E-mail	<p>①ポイント還元事業 市民生活部産業振興課 担当：永島 Tel：049-271-1111(内線231) E-mail：10400110@city.tsurugashima.lg.jp</p> <p>②高齢者応援クーポン 健康福祉部健康長寿課 担当：池田 Tel：049-271-1111(内線225) E-mail：10500150@city.tsurugashima.lg.jp</p>
-----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

鶴ヶ島市の進める新型コロナウイルス感染症対策事業

(03/05/31 定例記者会見資料)

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

自治会・地域支え合い協議会活動の支援

～地域における活動を支援します～

<p>目的 期待する効果</p>	<p>自治会及び地域支え合い協議会に対し、新型コロナウイルス感染症対策に必要な換気設備等の整備経費、消毒液や空気清浄機などの購入費を補助することにより、安心して地域活動を行えるよう支援するものです。</p>														
<p>概要</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費を補助します。</p> <p>具体例 ・換気扇の設置 ・網戸の取り付けや張替え ・手洗いの非接触化 ・空気清浄機の購入 ・マスクや消毒液などの購入</p> <p>・対象団体：自治会（80団体）、地域支え合い協議会（8団体）</p> <p>・補助率：10/10</p> <p>・上限額：50万円又は20万円</p>														
<p>事業費</p>	<p>3,320万円</p> <table border="1" data-bbox="411 1391 1406 1630"> <thead> <tr> <th></th> <th>集会所あり</th> <th>集会所なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会(80団体)</td> <td>50万円(51団体)</td> <td>20万円(29団体)</td> </tr> <tr> <th></th> <th>事務所が公共施設外</th> <th>事務所が公共施設内</th> </tr> <tr> <td>支え合い協議会(8団体)</td> <td>50万円(1団体)</td> <td>20万円(7団体)</td> </tr> </tbody> </table>				集会所あり	集会所なし	自治会(80団体)	50万円(51団体)	20万円(29団体)		事務所が公共施設外	事務所が公共施設内	支え合い協議会(8団体)	50万円(1団体)	20万円(7団体)
	集会所あり	集会所なし													
自治会(80団体)	50万円(51団体)	20万円(29団体)													
	事務所が公共施設外	事務所が公共施設内													
支え合い協議会(8団体)	50万円(1団体)	20万円(7団体)													
<p>特記事項</p>	<p>あわせて、感染症対策の観点から、鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会の活動拠点である鶴ヶ島第二小学校南校舎の1階トイレの改修（洋式化・手洗い自動水栓化など）を実施します。（事業費 390万8千円）</p>														

<p>担当部署 連絡先 E-mail</p>	<p>市民生活部地域活動推進課 担当：梅田 TEL：049-271-1111（内線275） Fax：049-271-1190 10400010@city.tsurugashima.lg.jp</p>
--------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

<h2>高齢者の訪問支援</h2> <p>～高齢者の生活を支援します～</p>

目的 期待する効果	コロナ禍において、生活機能や認知機能の低下等がみられる高齢者に対して早期にアプローチし、生活機能等の維持・向上に向けた取組につなげます。
概要	要支援・要介護認定を受けていない75歳以上の高齢者、約7千人を対象に7月から実態把握調査（郵送によるアンケート調査）を行います。 その調査結果に基づき、リスクの高い高齢者やアンケート未回答者等の自宅を保健師や生活支援員などが戸別に訪問し、必要な支援につなげます。 ・9月から生活支援員を増員（1名⇒4名）して訪問体制を強化します。
事業費	生活支援員増員分報酬等 511万7千円
特記事項	

担当部署	健康福祉部健康長寿課 担当：田中
連絡先	049-271-1111（内線209）
E-mail	10500150@city.tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

<h3>感染症に強い小・中学校体育館トイレ改修事業</h3> <p>～児童・生徒の学校生活を支援します～</p>

目的 期待する効果	感染症対策の観点から小・中学校の体育館トイレの改修を実施することにより、児童・生徒の安心・安全な教育環境を整備し、学校開放時などにも市民が安心して学校施設を利用できるようにします。
概要	小学校（8校）・中学校（5校）のトイレの洋式化・床等の改修工事を実施します。 <小学校工事予定箇所> 体育館内：新町小、杉下小、長久保小、藤小、南小 体育館併設：鶴ヶ島第一小、鶴ヶ島第二小、栄小 <中学校工事予定箇所> 体育館内：西中、南中 体育館併設：鶴ヶ島中、藤中、富士見中
事業費	9,852万9千円
特記事項	

担当部署	教育委員会教育総務課 担当：松本
連絡先	Tel：049-271-1111（内線511） Fax：049-271-4280
E-mail	10800010@city.tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

事業名

PCR検査・抗原検査費用の助成

目的 期待する効果	新型コロナウイルス感染症のPCR検査や抗原検査費用（自己負担分）を助成します
概要	<<対象者・上限額>> ・症状があり医師が必要と判断した方 又は 濃厚接触者 3,000円 ・新規の高齢者施設入所者 20,000円[PCR検査] 7,500円[抗原検査]
事業費	630万円
特記事項	

担当部署	健康福祉部 保健センター 担当：永井
連絡先	Tel：049-271-2745 Fax：049-271-2747
E-mail	10500130@city.tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

タイトル

**【市制施行30周年記念】未来の〇〇発掘事業第1弾
JAXA 宇宙飛行士 若田光一さん講演会
「目指せ宇宙を！～今だからできることを考えよう～」**

いつ (日時)	令和3年6月27日(日) 14時から15時30分
どこで (場所)	鶴ヶ島市立鶴ヶ島第一小学校体育館
誰が (主催者・関係者)	鶴ヶ島市、鶴ヶ島市教育委員会
なぜ (目的・理由) 何を (内容) どのように (経過・経緯・方法)	◎未来の〇〇発掘事業は、子どもたちが将来の夢を思い描く機会を創出して、応援する事業です。 ◎若田光一さんの講演を聴いて、宇宙を目指す、未来の宇宙飛行士を発掘します。 ◎新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、参加者は200名ですが、市民にYouTubeによるライブ配信を行うことにより、広く視聴の機会を提供します。
参加対象者 (優先順位)	①市内在住の小・中学生(原則は小学4年生以上) ②①の保護者 ③在住在学在勤者(ライブ配信の視聴のみ可)
それから (効果・影響) (現場の人の声)	市内小・中学校では、今年4月から6月にかけて、子どもたちが書いたメッセージとともに集合写真を撮影していて、12月(予定)にはモザイクアートにして国際宇宙ステーションに打ち上げられます。この企画と連動した開催により、将来なりたい職業や進路への意識の向上を図ります。
その他 (特筆すべき事項)	◎ライブ配信の視聴者には、後日URLをお知らせします。なお、録音・録画は禁止されています。 ◎感染状況によっては開催方法の変更等もあります。 ◎報道機関による報道目的の撮影は可能です。取材される場合は事前に連絡ください。 ◎後日、当日の写真提供も可能です。

担当部署名 生涯学習スポーツ課社会教育担当 担当者 若月(わかつき)
連絡先 Tel: 049-271-1111 内線532
Fax: 049-271-4280
E-mail k_wakatsuki@city.tsurugashima.lg.jp

鶴ヶ島市制施行30周年記念グッズ実行委員会からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしくお祈りします

タイトル

若手職員実行委員会発案！ 市制施行30周年記念グッズを作成しました

いつ (日時)	一般販売 7月1日～
どこで (場所)	市内
誰が (主催者・関係者)	鶴ヶ島市制施行30周年記念グッズ実行委員会
なぜ (目的・理由)	<p>◆市制施行30周年をPRし、鶴ヶ島市のシティプロモーションを推進するため、令和2年度に入庁した職員が自ら実行委員会を作り、取り組む企画です。アイデアは、昨年度の職員研修の中で生まれたものです。</p> <p>◆デザインは、ふるさと応援大使「鶴」(神田さん)協力のもと、市制施行30周年記念ロゴを入れたものになっています。</p> <p>【記念グッズの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコバッグ ・キャンバストートバッグ 一般販売 各600個 <p>【販売方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内協力店舗 ・産業まつり等のイベント時 <p>【価格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコバッグ 500円 ・キャンバストート 600円 <p>【デザインコンセプト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代に受け入れられ、老若男女が使えるデザインを意識 ・若手職員で考えたアイデアをもとに、神田さんに仕上げてもらったもの ・「羽」は若手職員のアイデアで、鶴の羽をイメージし、鶴ヶ島が未来へ羽ばたいてほしいという想いを込めた
何を (内容)	
どのように (経過・経緯・方法)	
それから (効果・影響) (現場の人の声)	若い世代が少しでもまちへの興味・関心を持つきっかけになればと考えています。
その他 (特筆すべき事項)	<p>■写真提供できます</p> <p>■市では、記念グッズを下記対象者に無償配布する予定 出生届提出者(令和3年度中、6月1日から配布) 婚姻届提出者(令和3年9月中) ほか</p>

担当部署名 鶴ヶ島市制施行30周年記念グッズ実行委員会事務局(市役所人事課内) 海保菜々
 連絡先 049-271-1111

鶴ヶ島市からのお知らせ

川越新聞記者会の皆さんよろしく申し上げます

タイトル

鶴ヶ島市役所若葉駅前出張所の取扱業務拡充

いつ (日時)	令和3年6月1日～
どこで (場所)	若葉駅前出張所 (富士見1丁目2番1号・ワカバウォーク内)
誰が (主催者・関係者)	鶴ヶ島市
なぜ (目的・理由)	市民の利便性の向上と新型コロナウイルス感染症対策(窓口混雑緩和、行政機能の分散化)を目的として、若葉駅前という非常に利便性の良い場所に立地する若葉駅前出張所で、転入、転出、転居などの住民異動を受け付けます。
何を (内容)	【新たなサービス】 ・住民異動(転入、転出、転居など) ・国保加入・脱退・異動(住民異動に伴う場合のみ)
どのように (経過・経緯・方法)	【これまでのサービスの変遷】 ■平成25年10月1日出張所開設 ・各種証明書の発行、印鑑登録、各種申請書の受付 ■平成26年10月1日パスポートコーナーの開設 ・パスポートの申請・交付 ■令和2年11月1日マイナンバーカードの申請・交付開始
それから (効果・影響) (現場の人の声)	利便性の良い場所にある若葉駅前出張所で、住民異動手続き業務を開始することにより、市民の利便性の向上を図っていきます。 また、行政機能を分散化することにより、市役所窓口の混雑を緩和し、新型コロナウイルス感染予防に努めていきます。

担当部署名 市民課 若葉駅前出張所 担当者 佐藤

連絡先 049-272-5611

E-Mail 10300050@city.tsurugashima.lg.jp